

新潟民商

新潟民主商工会
新潟市中央区沼垂西3丁目10-14
電話 (243) 0141
15年1月12日

青旗びらき

高橋武昌会長のあいさつ

新潟民商青旗びらきにお集まりのみなさん、明けましておめでとうございます。

昨年は二つの選挙がありました。ともに闘って見て「私達のくらしと営業の要求」を叶えてくれる最短距離に選挙という行為があつたと実感したことと思います。二つの選挙の最大の教訓はわたしたちのちいさな力でも市政も国政も変えられるということではないでしょうか。春には、新潟市議選・県議選があります。そのためにも次の二点を強調したいと思います。

その一、暮れには一五〇部の商工新聞を拡大し、その勢いは二年前の第五〇回総会の現勢回復にせまっています。拡大がなければ民商ではなくなります。私達は常に業者のみなさんや周りの方々に情勢を語り、民商の値打ちを広め、要求運動をしていくことが民商が存在していく意味です。

その二、新潟市長選を闘いました。市民税五五万円の滞納について口座差押えされた会員が市長選のあとの交渉で差押え解除し、十二月十日には返還してくれました。こんなことは余り例がないことです。交渉時、市民税課は、「民商という仲間がいていいね」とその会員に話していたそうです。市長選の努力・成果が市政を追い込み、市を変えていったのです。

最後になりました。私達は暮らしと営業の中から日本国憲法を守り抜き、消費税増税中止させる運動を強め、自主申告を完成し「民商でよかった」という二〇一五年にしていきましょう。健康にはくれぐれも留意してください。

新たな年への希望と闘いの決意をし、ともに団結してがんばりましょう。

十二月読者拡大目標の一五〇名達成 支部目標達成で十二支部が表彰つける

十二月はなんとしても百五十名の読者を拡大しようと役員・事務局で一致して取組み、年末三〇日に達成できました。表彰支部は、関屋・中央・しもまち・流作場・万代・沼垂・駅前・女池・山潟・大江山・大形・石山・山の下・内野の十四支部でした。石山支部は青旗開き直前に目標の残り二名を拡大表彰をうけました。細山拡大推進委員長から顕彰が贈られました。



かけつけてくれた来賓のみなさん

市長選を闘った斎藤裕弁護士

私も確定申告をしています。自主申告を守ることが大切。政府が進めるマイナンバー制度は、国民のプライバシー保護で大変問題。一緒に頑張りたい。



一斉地方選で県議をめざす

渋谷明治さん 武田勝利さん



市会議員団のみなさんのご挨拶



8%増税で一層複雑になった申告書作成

消費税申告書作成学習会

一月十五日(木) 二十二日(木)

昼の部 一時三十分 夜の部 六時三十分

民商会館

5%・8%での資料の区分の仕方。本則課税・簡易課税の申告書・付表の書き方

税務調査の報告

白根支部

昨年六月に税務署から電話がありました。

農業のかたわら他業種を営んでいます。自分でしっかりと記帳を行っていたので自信はあったが、念のため民商に連絡した。民商からの助言は領収書、請求書などの整合性が取れているか確認したほうがいいとのこと。確認してみると多少のミスを見つけることが出来ました。

前もって誤りをつぶして、調査が始まりました。税務署は指摘する箇所が見つからないので「減価償却について全額経費にできない」「リアカーで販売している野菜の売上がすくない」など、細々とした所を指摘、さらには「調査期間を三年から五年に変更する」と言い出しました。民商の仲間と税務署に直接足を運び交渉した結果、調査期間は三年で終了しました。

事前に書類を確認することで自信を持って調査に臨むことができました。

新潟市新年度予算

「まちなか商店魅力アップ応援事業」

篠田市政は、加入団体によって補助を受けられるかどうかを差別しようとしていません。補助対象は商店街団体の会員だけ。住宅地のなかや集落にある店も市民のくらしを支えており、助成対象から外すのは許せません。また、商店街団体の中には未加盟の店舗のほうが多い団体もあり、商店街の振興にもなりません。

「篠田市政の原案」

●店舗改装と備品の購入に助成 ●補助率二〇%で最高五〇万円 ●商店街団体加入の会員二七〇〇事業所だけが対象 ●業種は小売・飲食・理美容などの生活関連サービス業の中小企業者

すべての店が使えないのはおかしい

市財務課宛ての意見書を出そう。締め切り一月十五日。ひな型用意してあります。

民商の仲間の大切さ実感・青旗開き参加の富樫さん 税金滞納で差押えされた預金を取り戻した

旗びらきには、先日の商工新聞に預金差押解除の記事が掲載された富樫修さん（建築・大形支部）が参加しました。富樫さんは「差押えされた時はどうしていいかわからず頭が真っ白になったが、何とか職人の手当分だけでも解除されて助かった。本当に民商の仲間に助けられた。何でも相談し合うことが大事だと実感させられた」と話していました。

今回の差押解除の大きな成果として、今回の差押えが売掛金を直接差押えた訳でなく、預金だったことが上げられます。現在、全国的に預金の差押えが横行しています。預金を差押えられると、いくら売掛金や手当などの入金があったとしても、残高のうちどの金額が該当するのか判定が難しくなります。鳥取県の児童手当差押え事件で「容易に推測できる場合は差押え禁止」との判例が出てはいますが、今回は入金後数日経過しての差押えで解除は難しいかもしれないと話していました。結果は従業員分の差押え解除。新潟市でもここ数年で2件目の事例となりました。この結果となったのも、強権的な取り立てに日々批判が強まり、市長選挙でも6割以上の人が現市政にNOを突き付けた成果だと思えます。今後行われる地方選でも現市政にブレーキをかけることの出来る議員を多く当選させることが重要です。

第37回新潟民商婦人部定期総会

一年間の婦人部活動を振り返り、今後の活動の方針を決めます。総会終了後は新年会を行います。楽しく交流ができる企画を実行委員長中心に考えています。部員同士誘いあってみなさん参加をお願いします。

参加の締め切りは一月十五日です。

日時 一月十八日(日)

午後三時半より受付

会場 東映ホテル 二階

会費 五千五百円

